

I 令和6年度 地域包括支援センター運営状況（令和6年4月1日～令和7年3月31日実績）

1) 介護予防ケアマネジメント業務

事業対象者及び要支援認定者に対して、要介護状態になることを予防するため、自立支援を考えながら課題を整理し、高齢者が住み慣れた地域で生活を維持できるように、本人のできることを共に発見しながら主体的な活動と社会参加につなげる。

(1)第1号介護予防支援事業(介護予防ケアマネジメント) 件数

事業対象者及び介護予防・生活支援サービスのみを利用する要支援認定者に対して、介護予防や日常生活支援を目的として、その心身の状況や環境等に応じて対象者自らの選択に基づき、適切なサービス事業が実施されるように必要な援助を行うもの。（介護保険法第115条の45第1項第1号二）
原則は地域包括支援センターが実施するが、居宅介護支援事業所への委託も可能である。（指定介護予防支援とは別制度）

包括別第1号介護予防支援件数(令和6年度業務月報より)

地域包括支援センター名	マネジメントの種類									加算(再掲)			
	ケアマネジメントA			ケアマネジメントC			合計			初回			委託連携加算
	包括	委託	合計	包括	委託	合計	包括	委託	合計	包括	委託	合計	委託
社会福祉協議会	278	2,045	2,323	2	0	2	280	2,045	2,325	24	94	118	95
つくし	42	1,049	1,091	0	0	0	42	1,049	1,091	0	38	38	39
健楽園	91	1,390	1,481	1	1	2	92	1,391	1,483	4	52	56	50
鶴岡西	91	709	800	0	0	0	91	709	800	6	17	23	20
ふじしま	128	468	596	0	0	0	128	468	596	5	31	36	29
はぐろ	170	383	553	0	0	0	170	383	553	3	28	31	26
永寿荘	357	535	892	1	0	1	358	535	893	11	30	41	32
あさひ	160	201	361	0	0	0	160	201	361	7	9	16	9
あつみ	416	141	557	0	0	0	416	141	557	9	7	16	7
合計	1,733	6,921	8,654	4	1	5	1,737	6,922	8,659	69	306	375	307

※ケアマネジメントBは全ての包括で実績なし

【参考】

ケアマネジメントA 原則的なケアマネジメント
指定事業所のサービス利用 短期集中サービス利用
ケアマネジメントB 簡略化したケアマネジメント
指定事業所以外が行なう 多様なサービス利用
ケアマネジメントC 初回のみケアマネジメント
住民主体のサービス利用

(2)会議及び研修会等

目的：総合事業の現状と課題を把握することで、自立支援に資する介護予防ケアマネジメント業務に活かす。

1)保健師等資質向上研修

- ① 認知症関連事業（認知症マップ・ステップアップ講座等）について
- ② 短期集中サービス事業について
- ③ 障害サービスから介護保険に移行した事例について

2)介護予防・日常生活支援総合事業に関する情報共有

- ① 介護予防ケアマネジメントマニュアルの考え方
- ② 総合事業全般（サービスA実績減について各地域の状況把握等）、事例、事業所等の情報共有
- ③ サービス未利用者データを活用した実態把握、支援
- ④ その他

【事業実施からみえてきたこと】

○ 鶴岡市介護予防・日常生活支援総合事業が実施されており、自立支援に向けた介護予防ケアマネジメントの考え方、基本的な視点の理解を深めるとともに、一般介護予防事業をはじめ、多様なサービスの位置づけ等について引き続きケアマネジャーや住民へ周知していく必要がある。

○ 介護予防を目的とした通いの場づくりの広がりが、地域の支え合いの仕組みづくりにつながっており、生活支援コーディネーターをはじめ関係機関等を連携し、引き続き推進する。

(3)地域のニーズに応じた介護予防普及啓発

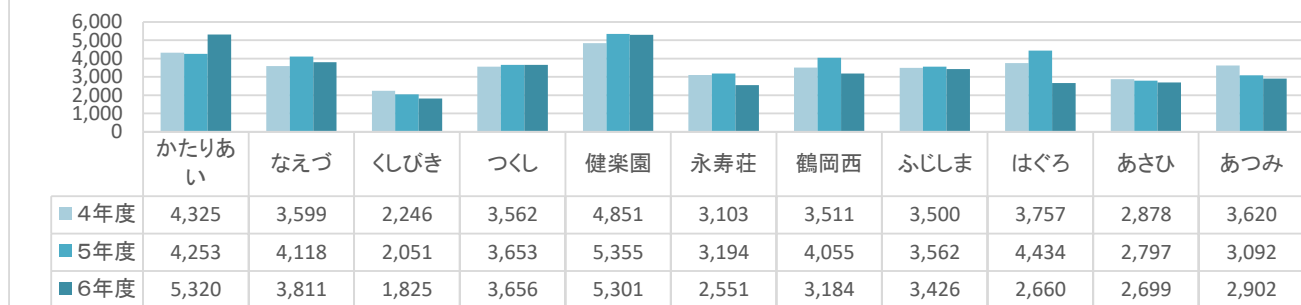
2) 総合相談・支援等事業

高齢者やその家族、地域住民等からの様々な相談を受け付け、相談内容に応じた支援機関やサービス等へのつなぎを行う。

(1) 総合相談件数年次推移

	4年度	5年度	6年度
実件数	28,014	28,200	27,213
延べ件数	38,952	40,564	37,335

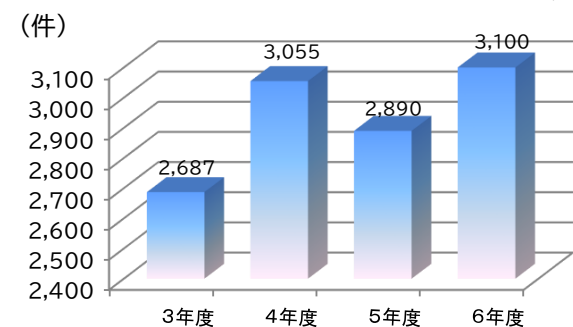
総合相談件数(延べ件数)の推移(全11センター)



(2) 相談形態、相談者、相談内容状況

新規	相談形態(実件数)						計	相談者(延べ件数)										計
	電話	来所	訪問	FAX・メール	来所以外(会議等)	その他		本人	家族・親族	民生委員	介護支援専門員	サービス提供事業所	医療機関	行政機関	在宅介護・地域包括	その他		
	1,457	15,449	2,372	7,439	851	584	518	27,213	10,084	9,774	971	7,314	3,690	1,808	2,122	213	1,359	37,335

認知症関連の相談対応件数の推移



総合相談内容(延べ件数)

実態把握	権利擁護関係		介護関係			疾病・障がい関係				包括的		在宅福祉サービス調査	医療関係	経済的問題	災害対応	事業対象者・要支援者	その他	介護予防ケアマネジメント	指定予防支援	合計			
	虐待関係	成年後見制度関係	消費者被害関係	その他	申請・更新等	介護保険の施設入所	介護者支援	認知症等	精神疾患	知的障害	身体疾病・障害										介護支援専門員支援関係	サービス担当者会議	
	1,567	1,077	464	24	212	7,510	1,324	1,205	3,100	847	103	2,741	1,737	1,353	1,388	1,968	813	52	2,108	884	3,208	2,702	36,387

○相談形態について、電話が56.8%，来所が8.7%，訪問が27.3%。相談者は、本人が26.5%、家族・親族が27.5%であった。

○相談内容について、認知症に関する相談は年々増加傾向にあり、令和3年度と比較すると1.15倍となっている。

3) 権利擁護業務

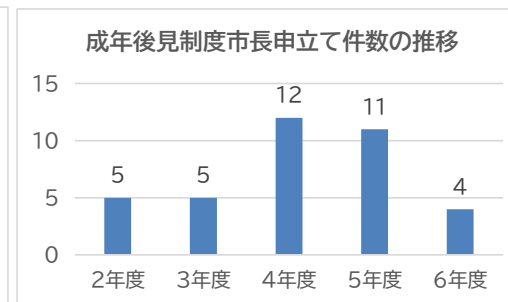
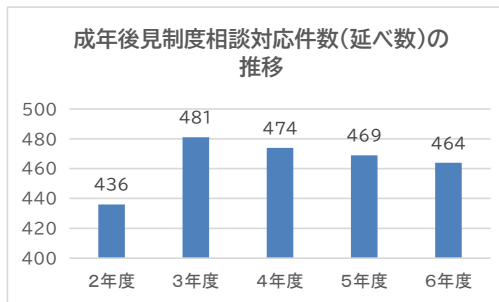
高齢者に対する虐待の防止・早期発見、成年後見制度の利用支援、消費者被害の防止等に関する取組を通じて、高齢者の権利擁護を図る。

(1) 成年後見制度利用支援実績

		4年度	5年度	6年度
地域包括支援センターの 成年後見制度関連相談対応件数(再掲)		474	469	464
市長申立件数		11※1	12※2	4
審判結果	後見	4	10	4
	保佐	4	0	0
	補助	0	0	0
	審判待ち	1	1	0

※1 【4年度】市長申立て後、後見人等選任前に対象者死亡にて取下げた事例(2件)

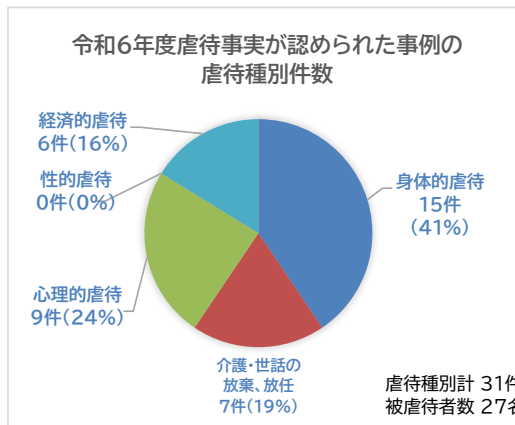
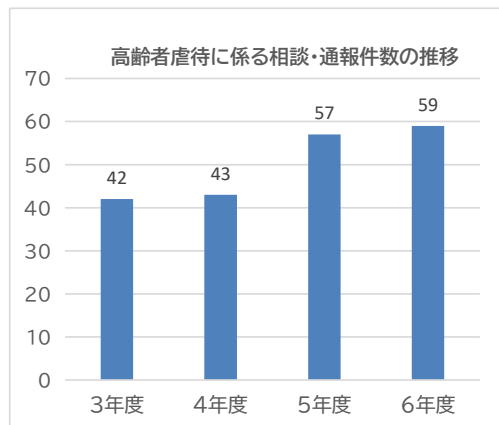
※2 【5年度】市長申立て後、後見人等選任前に対象者死亡にて取下げた事例(1件)



(2) 家庭内における高齢者虐待対応実績

		4年度	5年度	6年度
鶴岡市	相談・通報等新規	43	57	59
	虐待事実確認	22	31	26
	虐待事実確認割合	51.2%	54.4%	44.1%
山形県	相談・通報等新規	282	307	
	虐待事実確認	112	167	
	虐待事実確認割合	39.7%	54.4%	

※6年度の山形県内の状況は本資料作成時点で未公表のため空欄とした。



(3) 鶴岡市高齢者障害者虐待防止等連絡協議会の開催

【目的】 高齢者と障害者の権利擁護及び福祉の増進に向けて、関係機関と虐待防止に関する協議を通じて関係機関との連携強化を図る。

【開催日】 令和6年12月26日(金)

【参加者】 本協議会委員、本市関係課職員、地域包括支援センター社会福祉士

- 【内容】
- 令和5年度高齢者及び障害者虐待の対応状況について
 - 令和5年度山形県内の高齢者及び障害者虐待の対応状況について
 - 鶴岡市障害者相談支援センターの取組について
 - 情報交換
 - ・アルコール依存症のある虐待者に対する支援及び相談窓口等について
 - ・各機関における虐待防止に係る活動状況及び支援の現状について

【事業実施からみえてきたこと】

令和6年度の通報事例のうち44.1%に虐待事実が確認されている。認知症高齢者の増加に伴い、高齢者が虐待等の被害者となるリスクは増加することが見られるため、権利擁護に係る取組はさらに重要となる。
このため、関係機関と連携強化を図りながら、市民等への高齢者虐待防止及び成年後見制度に係る普及啓発や早期支援に向けた体制整備等の取組を推進していく。

4) 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

高齢者が、介護が必要な状態になっても、住み慣れた地域で暮らし続けることが出来るよう、介護支援専門員への個別支援に加え、主治医、ケアマネジャー等の連携や関係機関との多職種協働により、様々な社会資源を活用し安心した生活が送れるよう具体的支援と仕組みづくりをめざす。

(1) 介護支援専門員への個別支援

	4年度	5年度	6年度
支援件数	1,978	1,761	1,737
前年度比	1.3	0.9	1.0

(2) 支援困難・委託ケースのサービス担当者会議等開催支援

	4年度	5年度	6年度
支援件数	1,102	1,312	1,353
前年度比	0.9	1.2	1.0

(3) 地域ケア個別会議開催件数

	4年度	5年度	6年度
開催回数	54	54	29
前年度比	1.0	1.0	0.5

(4) 介護支援専門員現認調査実施(各年度当初)

	4年度	5年度	6年度
居宅介護支援事業所数※1	49	45	42
介護支援専門員数(人)	157	144	140
(うち主任介護支援専門員数)	59	61	62
介護支援専門員数前年度比	0.96	0.92	0.97

※1 小規模多機能型居宅介護支援事業所含む

(5) 介護支援専門員スキルアップ研修会

目的： 介護支援専門員業務の専門的技術の向上と、平準化を図る。
 日時： 令和6年10月18日(金)
 場所： 出羽庄内国際村
 内容： 「ケアマネジメント力を向上させよう」
 ～ヒアリングフレイル 高齢者の耳を学ぼう
 ケアプランにいかそう～
 講師： ユニバーサル・サウンドデザイン株式会社
 代表取締役 中石 真一路 氏
 参加者： 71名

(6) 居宅介護支援事業所主任介護支援専門員研修会

目的： 鶴岡市内の居宅介護支援事業所の主任介護支援専門員が、その役割を果たすために専門的技術の向上及び職種間のネットワークづくりを図る。
 また、地域の介護支援専門員の質の向上を図るために、地域包括支援センターと連携し研修会等を行うことにより適切なケアマネジメントの平準化をめざすとともに、リーダーとしての資質向上を図る。
 日時： 令和6年11月22日(金)
 場所： 総合保健福祉センターにこふる
 内容： 講義「ケアマネジメントに必要な支援チーム形成力」
 グループワーク「他機関とつながりスマートに連携しよう」
 講師： Social worker's office Oasis(社会福祉士事務所おあしす)
 代表 大江 祥子氏
 参加者： 62名

(7) 医療と介護の連携研修会

目的: 利用者が住み慣れた地域で安心して暮し続けることができるように支援するため、医療と介護の多職種が相互に連携し効果的・効率的なネットワークの構築を図る。

日時: 令和6年11月7日(木)

場所: 慶応義塾大学先端生命科学研究所 メタボロームキャンパス

内容: テーマ:本人・家族が望む暮らしを支えるために
～スムーズな支援のために私たちができること～

講師: ファシリテーター 山形県庄内保健所 所長 蘆野 吉和 氏

参加者: 医療機関関係業務従事者、介護・福祉関係業務従事者、行政・その他136名

(8) 歯科医師会と介護支援専門員との意見交換会

目的: 歯科医師会と介護事業所の相互理解と顔の見える関係づくり

日時: 令和6年9月27日(金)

場所: 総合保健福祉センターにこふる

内容: 「歯科医師・歯科衛生士と介護事業所との交流会」

○ミニレクチャー鶴岡歯科医師会より

「聴いてみてください お口のトラブルわかるかも」

鶴岡地区歯科医師会歯科衛生士 阿部 明美 氏

○グループごとの意見交換会

参加者: 歯科医師、歯科衛生士、介護支援専門員・包括、通所介護・通所リハ、ほたる、その他 86名

(9) 薬剤師会と居宅介護支援事業・小規模多機能事業所との意見交換会

目的: 住み慣れた地域で安心して暮し続けることができるように支援するため、薬局と介護の多職種が相互に連携し効果的・効率的なネットワークの構築を図る。

日時: 令和6年12月17日(火)

場所: 総合保健福祉センターにこふる

内容: 「薬剤師会と介護事業所との合同研修会2024」

○事例報告:「かかりつけ薬剤師からの訪問アプローチ

～多職種連携から広がる在宅訪問～」

アイン薬局 鶴岡七日町店 薬剤師 佐藤 正規 氏

○グループでの語り合いタイム

参加者: 薬剤師、介護支援専門員、地域包括支援センター、ほたる、その他 61名

【事業実施からみえてきたこと】

○令和7年5月現在、市内の居宅介護支援事業所26か所では介護支援専門員が120人、小規模多機能型居宅介護事業所10か所では、介護支援専門員が11人、合わせて131人の介護支援専門員が業務に従事している。その中で主任介護支援専門員の有資格者は57人、43.5%となっている。

○支援困難事例が増加する中、介護支援専門員及び主任介護支援専門員の人材の育成、資質向上に努めていく必要がある。

○介護支援専門員支援については、地域包括支援センターの主任介護支援専門員と居宅介護支援事業所部会の役員が、定期的に会議等を開催しながら課題を整理し、引き続き協働で取り組みを進めていく。

○医療・介護連携の取り組みについては、鶴岡地区医師会地域医療連携室ほたる、地域包括支援センターが協働して取り組みを進めている。